

育てた野菜でつくる『宮農版お弁当の日』

平成23年度 宮崎県立宮崎農業高等学校

1 『宮農版お弁当の日』のテーマ

食・農・家族のつながりを深める『弁当の日』
～育てた野菜を活用した取組を通して～

2 『宮農版お弁当の日』の基本的な考え方

本校では、生徒のプロジェクト活動の一環として「弁当の日」がスタートし、農業高校の特性を活かした「宮農版お弁当の日」として発展している。

近年、高校生においても食生活をめぐる環境の変化に伴い、栄養の偏り、不規則な食事、生活習慣病の増加など、食をめぐる様々な問題が起きている。このような中、生徒たちは高校進学後、給食に代わって弁当を持参しており、献立の立案から、材料の準備、調理、後片付け、盛り付けまで行う「弁当の日」への取組は、食と向き合う絶好のチャンスと考えられる。

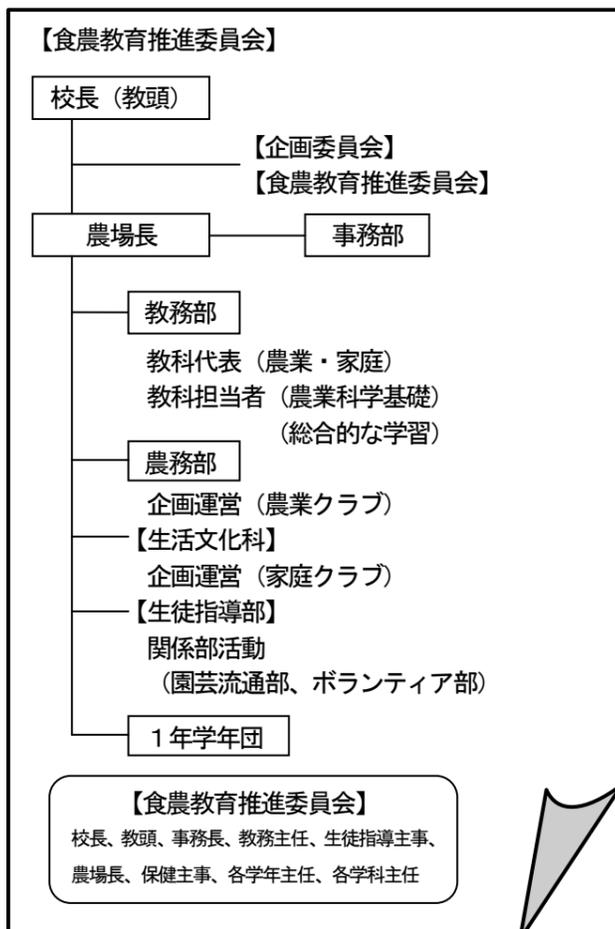
宮崎農業高校では、「弁当の日」の取組に学校で育てた農産物を食材に用いることによって、生徒たちの食や農に対する関心を一層高め、生産者の喜びや苦労を知り、家族に対する感謝の気持ちをより深く実感させていきたいと考えている。

また、育てた野菜を活用した「宮農版お弁当の日」は「食・農・家族」のつながりを深め、今後、地域にも広く発展的に普及していくことが期待される。

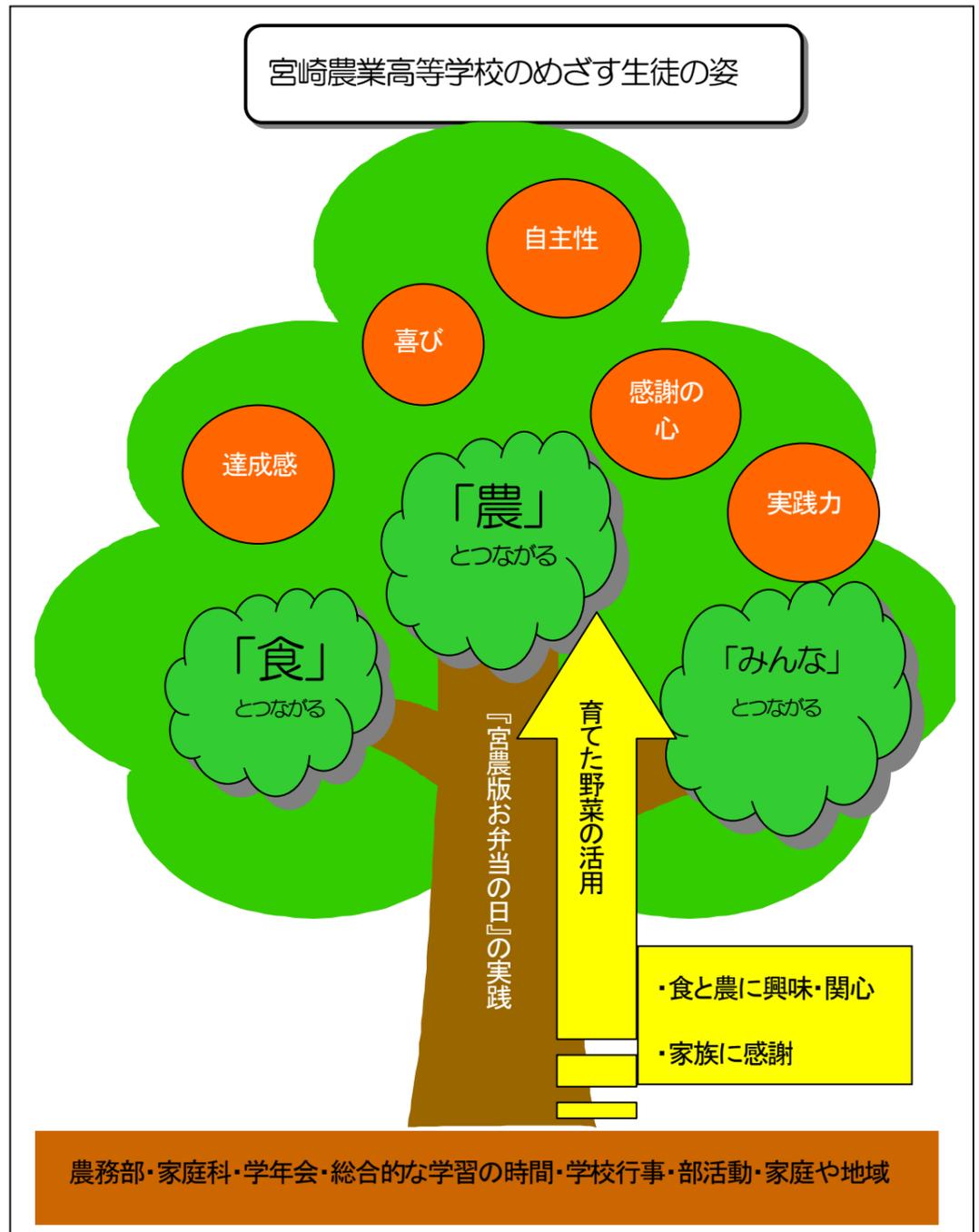
3 『宮農版お弁当の日』の目的

- 自分でお弁当を作り食することで、一人でやり遂げた達成感や喜びを感じる。
- 食と農の大切さについて考える機会とする。
- 保護者への感謝の気持ちを持つとともにコミュニケーションの場面を作る。

4 『宮農版お弁当の日』推進組織



5 全体構想



6 取組の実際

(1) 実施計画

期日 (平成22年度)	行事等	参加学年等	概要
4月21日(水)	耕うん	園芸流通部・ボランティア部	ハウス
4月23日(金)	土壌分析・マルチ張り	園芸流通部・ボランティア部	チャレンジファーム
4月29日(木)	種まき	園芸流通部・ボランティア部	チャレンジファーム
5月6日(木)	トマト定植	園芸流通部・ボランティア部	ハウス
5月31日(月)	管理	園芸流通部・ボランティア部	ハウス・チャレンジファーム 間引き・除草・芽かき
6月14日(月)	管理	園芸流通部・ボランティア部	チャレンジファーム 間引き・除草
7月12日(月)	宮農版お弁当の日	希望者100名	
9月9日(木)	種まき	食品工学科1年	ジャガイモ・ニンジン
9月10日(金)	種まき	生産流通科1年	ジャガイモ・ニンジン
9月14日(火)	種まき	環境工学科1年	ジャガイモ・ニンジン
9月15日(水)	種まき	生活文化科1年 生物工学科1年	ジャガイモ・ニンジン
9月下旬～	管理	各クラスごと	間引き・除草・芽かき
10月26日(火)	1学年PTA集会	1学年生徒・保護者	講演：船ヶ山氏清史氏
12月8日(水)	収穫	1学年	ジャガイモ・ニンジン
12月9日(木)	配布	参加者300名	ジャガイモ・ニンジン・スナックエンドウ・トマト・米・ホウレンソウ・ミカン・ブロッコリー
12月13日(月)	宮農版お弁当の日	1学年、2・3年職員の希望者 300名	体育館にて実施